平成26年8月期　中間決算短信（平成25年8月11日～平成26年2月10日）

平成26年3月26日

ファンド名	NEXT FUNDS タイ株式SET50指数連動型上場投信		
コード番号	(1559)	上場取引所	東証
連動対象指標	SET50指数	売買単位	1口
主要投資資産	株式		
管理会社	野村アセットマネジメント株式会社		
ＵＲＬ	http://www.nomura-am.co.jp		
代表者	CEO兼執行役会長兼社長	岩崎　俊博	
問合せ先責任者	投信ﾃﾞｨｽｸﾛｰｼﾞｬｰ部長	森保 一美	TEL (03)-3241-9511
半期報告書提出予定日	平成26年4月24日		

Ⅰ ファンドの運用状況

1. 平成26年2月中間期の運用状況（平成25年8月11日～平成26年2月10日）

(1)資産内訳　　（百万円未満切捨て）

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産（負債控除後）		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成26年2月中間期	1,004	(96.6)	35	(3.4)	1,040	(100)
平成25年8月期	1,123	(98.4)	18	(1.6)	1,141	(100)

(2)設定・解約実績　　（千口未満切捨て）

	前計算期間末発行済口数（①）	設定口数（②）	解約口数（③）	当中間計算期間末発行済口数（①+②-③）
	千口	千口	千口	千口
平成26年2月中間期	400	0	0	400

(3)基準価額

	総資産（①）	負債（②）	純資産（③(①-②)）	10 口当り基準価額（(③/当中間計算期間末(前計算期末)発行済口数)×10）
	百万円	百万円	百万円	円
平成26年2月中間期	1,045	4	1,040	26,012
平成25年8月期	1,160	18	1,141	28,539

2. 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　　有・(無)

② ①以外の変更　　有・(無)

Ⅱ 中間財務諸表等

ＮＥＸＴ ＦＵＮＤＳ タイ株式ＳＥＴ５０指数連動型上場投信

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第 3 期 （平成 25 年 8 月 10 日現在）	第 4 期中間計算期間末 （平成 26 年 2 月 10 日現在）
資産の部		
流動資産		
預金	11,159,635	23,994,000
コール・ローン	3,984,626	4,336,960
株式	1,123,543,433	1,004,980,193
派生商品評価勘定	686,450	－
未収入金	5,997,396	－
未収配当金	1,724,182	149,190
未収利息	16	9
その他未収収益	49,062	102,896
差入委託証拠金	13,043,529	11,673,311
流動資産合計	1,160,188,329	1,045,236,559
資産合計	1,160,188,329	1,045,236,559
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	－	1,319,136
未払収益分配金	15,600,000	－
未払受託者報酬	269,870	311,172
未払委託者報酬	2,663,870	3,013,423
その他未払費用	108,484	121,578
流動負債合計	18,642,224	4,765,309
負債合計	18,642,224	4,765,309
純資産の部		
元本等		
元本	792,000,000	792,000,000
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	349,546,105	248,471,250
（分配準備積立金）	221,659	221,659
元本等合計	1,141,546,105	1,040,471,250
純資産合計	1,141,546,105	1,040,471,250
負債純資産合計	1,160,188,329	1,045,236,559

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第 3 期中間計算期間 自　平成 24 年 8 月 11 日 至　平成 25 年 2 月 10 日	第 4 期中間計算期間 自　平成 25 年 8 月 11 日 至　平成 26 年 2 月 10 日
営業収益		
受取配当金	4,003,155	11,916,188
配当株式	56,457	162,633
受取利息	3,011	1,751
有価証券売買等損益	82,267,520	△114,335,492

派生商品取引等損益	1,947,491	△2,573,937
為替差損益	91,243,928	7,388,903
その他収益	973,033	906,083
営業収益合計	180,494,595	△96,533,871
営業費用		
受託者報酬	103,809	311,172
委託者報酬	1,038,072	3,013,423
その他費用	548,998	1,216,389
営業費用合計	1,690,879	4,540,984
営業利益又は営業損失（△）	178,803,716	△101,074,855
経常利益又は経常損失（△）	178,803,716	△101,074,855
中間純利益又は中間純損失（△）	178,803,716	△101,074,855
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	－	－
期首剰余金又は期首欠損金（△）	△5,467,373	349,546,105
剰余金増加額又は欠損金減少額	56,184,000	－
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	56,184,000	－
剰余金減少額又は欠損金増加額	－	－
分配金	－	－
中間剰余金又は中間欠損金（△）	229,520,343	248,471,250

（３）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１.運用資産の評価基準及び評価方法	株式 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 先物取引 計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。 為替予約取引 計算日において予約為替の受渡日の対顧客先物相場の仲値で評価しております。
２.外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
３.費用・収益の計上基準	受取配当金 受取配当金は、原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 配当株式 配当株式は原則として、配当株式に伴う源泉税等の費用が確定した段階で、株式の配当落ち日に計上した数量に相当する券面額又は発行価額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。 為替差損益 約定日基準で計上しております。
４.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引の市場リスクの大きさを示すものではありません。

5.その他	当ファンドの中間計算期間は、平成 25 年 8 月 11 日から平成 26 年 2 月 10 日までとなっております。

(中間貸借対照表に関する注記)

第 3 期 平成 25 年 8 月 10 日現在	第 4 期中間計算期間末 平成 26 年 2 月 10 日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 400,000 口	1. 中間計算期間の末日における受益権の総数 400,000 口
2. 計算期間の末日における 1 単位当たりの純資産の額	2. 中間計算期間の末日における 1 単位当たりの純資産の額
1 口当たり純資産額 2,853.9 円	1 口当たり純資産額 2,601.2 円
(10 口当たり純資産額) (28,539 円)	(10 口当たり純資産額) (26,012 円)

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

第 3 期 平成 25 年 8 月 10 日現在	第 4 期中間計算期間末 平成 26 年 2 月 10 日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	1. 中間貸借対照表計上額、時価及び差額 中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法 株式 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 派生商品評価勘定 デリバティブ取引については、(その他の注記)の 2 デリバティブ取引関係に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	2. 時価の算定方法 株式 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 派生商品評価勘定 デリバティブ取引については、(その他の注記)の 2 デリバティブ取引関係に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(その他の注記)

1 元本の移動

第 3 期 自 平成 24 年 8 月 11 日 至 平成 25 年 8 月 10 日		第 4 期中間計算期間 自 平成 25 年 8 月 11 日 至 平成 26 年 2 月 10 日	
期首元本額	316,800,000 円	期首元本額	792,000,000 円
期中追加設定元本額	475,200,000 円	期中追加設定元本額	0 円
期中一部解約元本額	0 円	期中一部解約元本額	0 円

2 デリバティブ取引関係

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

種類	第 3 期(平成 25 年 8 月 10 日現在)				第 4 期中間計算期間末(平成 26 年 2 月 10 日現在)			
	契約額等 (円)	うち 1 年超	時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等 (円)	うち 1 年超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引 先物取引								
株価指数先物取引								
買建	14,549,850	−	15,183,800	633,950	31,242,744	−	29,923,608	△1,319,136
市場取引以外の取引								
為替予約取引								
売建	15,502,500	−	15,450,000	52,500	−	−	−	−
バーツ	15,502,500	−	15,450,000	52,500	−	−	−	−
合計	−	−	−	686,450	31,242,744	−	29,923,608	△1,319,136

(注) 時価の算定方法

1 先物取引

外国先物取引について

先物の評価においては、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

2 為替予約取引

1)計算日において対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価しております。

①計算日において為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

②計算日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

・計算日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

・計算日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

2)計算日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客相場の仲値で評価しております。

※上記取引でヘッジ会計が適用されているものはございません。